



2024年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年6月5日

上場会社名 株式会社フジ・コーポレーション
コード番号 7605 URL <https://www.fujicorporation.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 文樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 多賀 睦実

TEL 022-348-3300

四半期報告書提出予定日 2024年6月14日

配当支払開始予定日

2024年7月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第2四半期の業績(2023年11月1日～2024年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	27,260	2.5	3,715	8.3	3,822	8.5	2,800	3.3
2023年10月期第2四半期	26,587	7.1	4,052	11.5	4,179	10.5	2,897	12.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	148.39	148.10
2023年10月期第2四半期	148.13	147.86

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期第2四半期	36,762	27,022	73.4	1,428.35
2023年10月期	33,684	24,502	72.6	1,296.89

(参考)自己資本 2024年10月期第2四半期 26,986百万円 2023年10月期 24,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期		12.50		17.50	30.00
2024年10月期		20.00			
2024年10月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)期末配当金の内訳 2023年10月期 普通配当 12円50銭 特別配当 5円00銭

3. 2024年10月期の業績予想(2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	0.9	5,600	1.3	5,850	1.4	4,050	1.6	214.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年10月期2Q	19,223,900 株	2023年10月期	19,223,900 株
期末自己株式数	2024年10月期2Q	330,436 株	2023年10月期	358,436 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年10月期2Q	18,874,849 株	2023年10月期2Q	19,560,173 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(修正再表示)	7
3. その他	8
販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年11月1日～2024年4月30日)における我が国の経済は、政経済活動の正常化が進み、インバウンド消費の回復、株価上昇の流れのなかで景気の持ち直しが期待されますが、世界的な金融引締めに伴う影響や長期化するウクライナ情勢等国際情勢が一段と不安定となっており、さらに歴史的な円安進行に伴う、原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価の上昇等、依然先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社におきましては、暖冬により冬季商材の販売数量は減少しましたが、商品単価が上昇したため、売上高は前年を上回ることができました。しかし、急激な円高により仕入コストが上昇し、当第2四半期会計期間は若干の増収減益となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は27,260百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は3,715百万円(前年同期比8.3%減)、経常利益は3,822百万円(前年同期比8.5%減)、四半期純利益は2,800百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

品種別売上高の状況は、タイヤ・ホイールは23,723百万円(前年同期比2.6%増)、用品は1,810百万円(前年同期比8.6%増)、作業料は1,726百万円(前年同期比4.2%減)となりました。また、販路別売上高の状況は、店舗売上高は16,442百万円(前年同期比1.6%増)、本部売上高は10,817百万円(前年同期比4.0%増)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は36,762百万円(前事業年度末比3,077百万円の増加)となりました。主な変動要因は、現金及び預金6,779百万円の増加、売掛金916百万円の減少、商品2,434百万円の減少、前払費用165百万円の増加、未収入金245百万円の減少及び固定資産256百万円の減少などによるものであります。

また、負債は9,739百万円(前事業年度末比557百万円の増加)となりました。主な変動要因は、買掛金403百万円の増加、未払法人税等293百万円の増加及び前受金183百万円の減少などによるものであります。

なお、純資産は27,022百万円(前事業年度末比2,519百万円の増加)となりました。主な変動要因は、利益剰余金2,470百万円の増加などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は8,750百万円(前事業年度末比6,775百万円増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は7,250百万円となりました。(前年同期は7,144百万円の獲得)

これは主に、税引前四半期純利益4,024百万円、減価償却費561百万円、売上債権の減少額733百万円、棚卸資産の減少額2,434百万円、仕入債務の増加額403百万円及び法人税等の支払額951百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は123百万円となりました。(前年同期は602百万円の使用)

これは主に、有形固定資産の取得による支出631百万円及び有形固定資産の売却による収入519百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は351百万円となりました。(前年同期は504百万円の使用)

これは主に、配当金の支払額331百万円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、当第2四半期会計期間において、将来予測について合理的に把握することが困難なため、現段階においては、2023年12月15日に公表しました「2023年10月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の業績予想を据え置くことといたしました。なお、業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,975,311	8,755,031
売掛金	3,898,588	2,982,386
商品	9,574,031	7,139,090
前払費用	915,281	1,081,034
未収入金	1,716,456	1,471,195
その他	94,896	80,315
貸倒引当金	△17,786	△17,786
流動資産合計	18,156,778	21,491,268
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,850,713	8,730,068
減価償却累計額	△2,656,202	△2,767,430
建物(純額)	6,194,511	5,962,638
土地	3,059,515	3,276,946
その他	9,945,840	10,021,603
減価償却累計額	△5,835,164	△6,100,620
その他(純額)	4,110,676	3,920,983
有形固定資産合計	13,364,703	13,160,568
無形固定資産	304,256	288,352
投資その他の資産	1,858,608	1,822,126
固定資産合計	15,527,567	15,271,047
資産合計	33,684,346	36,762,315

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,254,825	3,658,492
未払法人税等	1,013,340	1,306,891
賞与引当金	87,130	89,790
前受金	1,031,358	848,340
前受収益	951,722	1,011,905
その他	1,289,481	1,296,104
流動負債合計	7,627,859	8,211,523
固定負債		
退職給付引当金	335,628	345,743
資産除去債務	251,867	253,306
リース債務	723,949	703,067
その他	242,347	225,997
固定負債合計	1,553,792	1,528,113
負債合計	9,181,651	9,739,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,515	1,236,515
資本剰余金	1,273,115	1,279,681
利益剰余金	22,504,992	24,975,582
自己株式	△548,229	△505,403
株主資本合計	24,466,394	26,986,377
新株予約権	36,300	36,300
純資産合計	24,502,695	27,022,677
負債純資産合計	33,684,346	36,762,315

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	26,587,990	27,260,502
売上原価	17,665,702	18,544,942
売上総利益	8,922,288	8,715,559
販売費及び一般管理費	4,870,242	4,999,640
営業利益	4,052,046	3,715,919
営業外収益		
受取利息	2,672	3,264
不動産賃貸料	27,840	26,713
受取保険金	70,268	50,672
その他	45,851	43,615
営業外収益合計	146,633	124,265
営業外費用		
支払利息	3,319	4,646
不動産賃貸費用	7,337	7,448
その他	8,622	5,793
営業外費用合計	19,279	17,888
経常利益	4,179,399	3,822,296
特別利益		
固定資産売却益	1,680	201,755
特別利益合計	1,680	201,755
税引前四半期純利益	4,181,080	4,024,052
法人税等	1,283,595	1,223,315
四半期純利益	2,897,485	2,800,736

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,181,080	4,024,052
減価償却費	546,766	561,697
株式報酬費用	67,027	67,612
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,630	2,660
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,735	10,114
受取利息及び受取配当金	△2,672	△3,264
支払利息	3,319	4,646
固定資産売却損益(△は益)	△1,680	△201,755
売上債権の増減額(△は増加)	759,404	733,183
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,464,078	2,434,940
前払費用の増減額(△は増加)	△290,417	△165,753
未収入金の増減額(△は増加)	△54,051	245,260
仕入債務の増減額(△は減少)	△252,060	403,666
前受収益の増減額(△は減少)	94,415	60,183
未払消費税等の増減額(△は減少)	672,557	257,887
その他	△28,237	△231,965
小計	8,176,896	8,203,166
利息及び配当金の受取額	2,672	3,264
利息の支払額	△3,319	△4,646
法人税等の支払額	△1,031,696	△951,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,144,552	7,250,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の純増減額(△は増加)	4,214	595
有形固定資産の取得による支出	△502,564	△631,363
有形固定資産の売却による収入	1,954	519,863
無形固定資産の取得による支出	△47,040	△28,403
建設協力金の支払による支出	△76,692	—
その他	17,953	16,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△602,173	△123,126
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△16,224	△20,598
配当金の支払額	△488,515	△331,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	△504,739	△351,813
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,037,638	6,775,744
現金及び現金同等物の期首残高	809,752	1,974,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,847,391	8,750,162

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算出方法

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

3. その他

販売の状況

(品種別売上高)

品種	前第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	
	売上実績(千円)	構成比(%)	売上実績(千円)	構成比(%)
タイヤ・ホイール	23,118,129	86.9	23,723,580	87.0
用品	1,666,447	6.3	1,810,076	6.7
作業料	1,803,413	6.8	1,726,844	6.3
合計	26,587,990	100.0	27,260,502	100.0

(販路別売上高)

形態	前第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	
	売上実績(千円)	構成比(%)	売上実績(千円)	構成比(%)
店舗売上	16,189,176	60.9	16,442,911	60.3
本部売上	10,398,813	39.1	10,817,590	39.7
合計	26,587,990	100.0	27,260,502	100.0